

## リニアテクノロジー、新製品「LT3652HV」を販売開始

制御ループがシンプルで太陽電池のピーク・パワー・トラッキングに適した高電圧 2A バッテリー・チャージャ

2010年6月8日 - 高性能アナログ IC のリーディングカンパニーであるリニアテクノロジーは、さまざまなタイプのバッテリーに対応できる革新的なモノリシック降圧バッテリー・チャージャ「LT3652」の高電圧バージョン「LT3652HV」の販売を開始しました。LT3652HV は、高さの低い (0.75mm) 12ピン 3mm x 3mm DFN パッケージと、12ピン MSOP パッケージで供給されます。両パッケージともに E グレード・バージョンと I グレード・バージョンがあり、 $-40^{\circ}\text{C}$ ~ $125^{\circ}\text{C}$ の接合部温度範囲で動作保証されています。1,000 個時の参考単価は両パッケージとも E グレード・バージョンが 340 円 (税込み) から、I グレード・バージョンが 370 円 (同) からで、リニアテクノロジー国内販売代理店各社経由で販売されます。製品の詳細情報は [www.linear-tech.co.jp](http://www.linear-tech.co.jp) をご覧ください。

LT3652HV は、対応するバッテリー・フロート電圧範囲が最大 18V と LT3652 よりも広いほか、LT3652 同様に入力電圧を設定レベルに保つために充電電流を制御する、入力電圧安定化ループを備えています。LT3652HV は、さまざまな入力電源から多くの異なるバッテリー構成を充電できる柔軟性を備え、ソーラーパネルに接続した場合には、入力安定化ループによってパネルの出力電力をピーク状態に保ちます。

リニアテクノロジーでバイス・プレジデント兼 Power Products 担当ゼネラルマネージャを務める Steve Pietkiewicz は、「拡充が進む当社のソーラー入力対応バッテリー・チャージャ IC のラインナップに、出力電圧能力が向上した LT3652HV が加わりました。LT3652HV は LT3652 と同じく、シンプルでありながら独自の入力電圧安定化ループ回路により、もっと複雑で高価な Maximum Peak Power Tracking (MPPT) 技術と実質的に等しい充電効率を達成します」と述べています

LT3652HV は 4.95V~34V の広範な入力電圧を使用でき、絶対最大定格が 40V なので、システムのマージンを増やすことができます。また、入力電圧安定化ループにより、過電流状態で入力電圧が低下する恐れがある安定化が不十分な入力電源からの充電を最適化することができます。直列に接続された 1~4 個のリチウムイオン/リチウムポリマー・セル、直列に接続された 1~5 個の  $\text{LiFePO}_4$  (リン酸鉄リチウム)セル、最大 18V の SLA バッテリー (密閉型鉛蓄電池) など、さまざまなバッテリー・パック構成の充電が可能です。アプリケーションには、ソーラー駆動システム、12V~24V 車載機器、バッテリー・チャージャなどがあります。

LT3652HV は最大 2A までの充電電流設定可能です。外付けのマイクロコントローラは不要で、C/10 または内蔵タイマによる充電終了方式をユーザーが選択可能です。1MHz の固定スイッチング周波数で動作するのでソリューション・サイズを小型にできます。フロート電圧帰還精度は  $\pm 0.5\%$ 、充電電流精度は  $\pm 5\%$ 、C/10 検出精度は  $\pm 2.5\%$  です。充電が終了すると、LT3652HV は自動的に低電流のスタンバイ・モードになり、入力電源電流が  $85\mu\text{A}$  に減少します。シャットダウン時には、入力バイアス電流が  $15\mu\text{A}$  に減少します。自動充電制御のために、バッテリー電圧が設定されたフロート電圧を 2.5% 下回った場合に、自動再充電機能によって新しい充電サイクルを開始します。

制御ループがシンプルで太陽電池のピーク・パワー・トラッキングに適した高電圧 2A バッテリ・チャージャ

**LT3652HV の主な特長:**

- ソーラー・アプリケーションでのピーク・トラッキング向けのソーラー電源電圧安定化ループ
- 広い入力電圧範囲: 4.95V~34V (絶対最大定格 40V)
- プログラム可能な充電電流: 最大 2A
- マルチケミストリ: 抵抗で設定可能なフロート電圧は最大 18V で、リチウムイオン/ポリマー(1~4 セル)、LiFePO<sub>4</sub> (1~5 セル)、SLA などのバッテリーに対応可能
- 充電終了方式をユーザーが選択可能: C/10 または内蔵終了タイマ
- 非充電時のバッテリーからの流出電流: 1  $\mu$ A 未満
- 1MHz のスイッチング周波数により、小型の外付け部品を使用可能
- フロート電圧帰還リファレンス精度:  $\pm$ 0.5%
- 充電電流精度:  $\pm$ 5%
- NTC 抵抗による温度モニタ
- 自動リセット付きの不良バッテリー検出
- 高さの低い(0.75mm) 3mm x 3mm DFN-12 パッケージと MSOP-12E パッケージ

フォトキャプション: ソーラー駆動の高出力電圧 34V (最大 40V)、2A マルチケミストリ・チャージャ

Copyright: 2010 Linear Technology Corporation

###

**リニアテクノロジーについて**

リニアテクノロジー(Linear Technology Corporation, Nasdaq: LLTC、本社: カリフォルニア州ミルピタス)は 1981 年の設立以来、高性能アンプ、コンパレータ、電圧リファレンス、モノリシック・フィルタ、リニア・レギュレータ、DC/DC コンバータ、バッテリー・チャージャ、データ・コンバータ、コミュニケーション・インターフェース IC、高周波信号コンディショニング IC、 $\mu$  Module など、多岐にわたる高性能アナログ半導体を提供しています。リニアテクノロジーの高性能アナログ半導体は通信、携帯電話、各種ネットワーク製品、コンピュータ、コンピュータ周辺機器、ビデオ/マルチメディア、産業計測、セキュリティをはじめ、デジタルカメラ、MP3 プレーヤー、医療、自動車向け電子部品、FA、プロセス制御、軍需・防衛に至る、あらゆる分野で使用されています。リニアテクノロジーは 1986 年に株式公開、2000 年には S & P 500 企業に選ばれています。

LT, LTC, LTM,  $\mu$  Module 及び会社ロゴは Linear Technology Corporation の登録商標です。その他の登録商標・商標は、それぞれの所有者にその権利が帰属します。記載内容は予告なしに変更される場合があります。

**メディアの方お問い合わせ先:**

ミアキス・アソシエイツ 河西 (かさい)  
TEL: 0422-47-5319 Email: linear-pr@miacis.com

**記事掲載時お問合せ先:**

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-6 秀和紀尾井町パークビル 8F  
リニアテクノロジー株式会社 TEL: 03-5226-7291(代表) www.linear-tech.co.jp

**本社メディア担当者**

John Hamburger, Director Marketing Communications  
jhamburger@linear.com 408-432-1900 ext 2419

Doug Dickinson, Media Relations Manager  
ddickinson@linear.com 408-432-1900 ext 2233

以上